

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年7月31日

上場取引所 札

上場会社名 日本テクノ・ラボ株式会社

コード番号 3849 URL <http://www.ntl.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松村 泳成

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 鈴木 孝男

TEL 03-5276-2810

四半期報告書提出予定日 平成25年8月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	86	△14.9	△41	—	△41	—	△26	—
25年3月期第1四半期	102	△64.6	△41	—	△41	—	△26	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△3,364.19	—
25年3月期第1四半期	△3,273.52	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
26年3月期第1四半期	1,103	104,861.76	842	104,861.76	75.8	104,861.76
25年3月期	1,157	109,230.00	877	109,230.00	75.3	109,230.00

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 836百万円 25年3月期 871百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	1,000.00	—	1,000.00	2,000.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	812	20.1	89	161.8	90	157.1	55	160.5	6,894.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	8,480 株	25年3月期	8,480 株
26年3月期1Q	503 株	25年3月期	503 株
26年3月期1Q	7,977 株	25年3月期1Q	8,152 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10
(2) 研究開発費の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、政権交代以降の経済対策や日銀の大胆な金融緩和策等により円安、株高が進行し、企業業績には回復傾向の兆しが表れてはおりますが、新興国の景気減速や欧州の債務危機問題の長期化など、先行きの不透明感も依然残る状況が続いており、当社を取り巻く事業環境につきましては、IT産業の需要減の影響が続くなど予断を許さない状況が続いております。

このような状況下、当社は、既存顧客への運用支援を行いながら、製品の品質・機能をさらに向上させ、顧客満足度を上げることによりユーザとの信頼関係を築きつつ、競争力のさらなる強化に努め、新規ユーザを獲得すべく営業活動に邁進してまいりました。

その結果、当第1四半期の業績は、売上高は86,908千円(前年同期比14.9%減)、営業損失は41,716千円(前年同期比0.3%減)、経常損失は41,824千円(前年同期比0.8%増)、四半期純損失は26,836千円(前年同期比0.6%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(イメージング&プリンタコントローラ事業)

当セグメントにおきましては、ソフトウェアの開発委託及び産業用インクジェットプリンタ制御装置の売上は前期と大きく変わらずに推移しておりますが、先行投資として産業用インクジェットプリンタ制御装置の開発費を計上したため、利益は減少しました。しかしながら、産業用インクジェットプリンタ制御装置は引き合いが続いており、高確率での追加注文が期待できるため、開発費は十分に回収できると見込んでおります。

その結果、売上高は45,236千円(前年同期比4.4%減)、利益は2,748千円(前年同期比69.4%減)となりました。

(ストレージソリューション事業)

当セグメントにおきましては、Blu-ray/DVDメディアにデータをバックアップし、メディア盤面に自動印刷する装置(製品名:Bravoシリーズ)の販売が増加したことに加え、新規顧客の保守を獲得したことで、売上高は増加しました。しかしながら、複数枚のBlu-rayメディアに大容量バックアップを行う、光ディスクチェンジャ装置システムの研究開発費を計上したことにより、利益は減少しました。

その結果、売上高は15,243千円(前年同期比24.6%増)、損失は3,249千円(前年同期は2,068千円の利益)となりました。

新型光ディスク装置は年々引き合いが増加しており、今まで培ってきた実績や経験を生かし、品質、操作性、メンテナンス性に優れたシステムを作り、確実に受注に結びつけてまいります。

(セキュリティ事業)

当セグメントにおきましては、情報セキュリティ事業に関しましては、SPSEは大手金融機関、大手証券会社、その他大手企業を中心とした既存ユーザへの保守は堅調に推移しましたが、新規大規模ユーザ案件の獲得は少なく、売上は伸びませんでした。今後は、SPSEを改良し、大規模ユーザに加え、中小規模のユーザへ営業活動を展開し、受注を獲得してまいります。

映像セキュリティ事業に関しましては、FIRE DIPPERは空港監視、道路監視、発電所監視並びに警察関連から数件受注いたしました。大規模ユーザ向け案件のため、受注から売上までの期間が比較的長期化する傾向にあります。そのため、納品は第2四半期以降となり、今回の結果には結びつきませんでした。

その結果、売上高は21,884千円(前年同期比0.5%減)、損失は11,439千円(前年同期比44.6%減)とな

りました。

(その他)

当セグメントにおきましては、受託開発に関する売上が減少しましたが、前年同期に比較し利益率が改善されたため、利益は増加しました。

その結果、売上高は4,543千円(前年同期比78.0%減)、利益は2,589千円(前年同期比1263.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりです。

(流動資産)

当第1四半期会計期間末の流動資産合計は796,575千円と前事業年度末に比べて56,758千円減少しました。減少した主な要因は、繰延税金資産が15,060千円、現金及び預金が7,054千円増加しましたが、受取手形及び売掛金が76,390千円減少したこと等によるものです。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末の固定資産合計は306,723千円と前事業年度末に比べて2,949千円増加しました。増加した主な要因は、減価償却により有形固定資産が917千円、長期貸付金が558千円減少しましたが、保険積立金が4,715千円増加したこと等によるものです。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末の流動負債合計は180,737千円と前事業年度末に比べて20,871千円減少しました。減少した主な要因は、前受金が6,973千円、未払金が2,699千円増加しましたが、買掛金が22,329千円、未払法人税等が11,834千円減少したこと等によるものです。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末の固定負債合計は80,154千円と前事業年度末に比べて1,907千円増加しました。増加した主な要因は、役員退職慰労引当金が1,927千円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は842,407千円と前事業年度末に比べて34,845千円減少しました。減少した主な要因は、配当金の支払いや四半期純損失の計上等により利益剰余金が34,813千円減少したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社が受注している案件は、第2四半期以降の予算執行が多く、当第1四半期累計期間の業績は、遺憾ながら赤字となりましたが、当第1四半期累計期間の業績は、当初の予想とおりに推移しております。

イメージング&プリンタコントローラ事業においては、前期に引き続き、中国企業から大型インクジェットプリンタ制御装置の後継機種の開発を受注しており、開発終了後は、装置の量産注文に対する売上が期待できます。

ストレージソリューション事業においては、Blu-rayメディアを用いた大容量光ディスクチェンジャ装置システムの開発が順調に進み、第2四半期において開発が完了する見込みです。すでに開発段階で国内外から引き合いを受けており、詳細な商談フェーズに位置する案件もあり、第2四半期以降の動向に期待が持てます。

セキュリティ事業においては、SPSEの製品販売は伸び悩んでおりますが、過去の既存顧客との年間保守契約は堅調に推移しており、今後は、現在商談中の案件を受注に結び付ける活動を行います。FIRE DIPPERは、発電所、空港、官公庁といった大規模ユーザ向けの案件をすでに数件受注しております。納品は第2四半期以降となるため、今後は一層の売上拡大を見込んでおります。

それらの結果、通期の業績につきましては、現時点で変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	606,046	613,101
受取手形及び売掛金	209,298	132,907
商品及び製品	13,635	12,687
仕掛品	10,157	9,978
前払費用	10,895	9,806
繰延税金資産	2,454	17,515
その他	1,115	748
貸倒引当金	△270	△170
流動資産合計	853,333	796,575
固定資産		
有形固定資産		
建物	11,669	11,669
減価償却累計額	△7,722	△8,045
建物(純額)	3,946	3,623
車両運搬具	10,039	10,039
減価償却累計額	△7,101	△7,407
車両運搬具(純額)	2,937	2,631
工具、器具及び備品	36,266	36,456
減価償却累計額	△32,215	△32,693
工具、器具及び備品(純額)	4,051	3,762
有形固定資産合計	10,935	10,017
無形固定資産		
特許権	858	815
商標権	703	669
ソフトウェア	5,803	5,642
電話加入権	1,569	1,569
無形固定資産合計	8,935	8,696
投資その他の資産		
投資有価証券	842	790
関係会社株式	21,000	21,000
出資金	10	10
長期貸付金	3,000	2,441
差入保証金	40,489	40,489
保険積立金	214,262	218,978
その他	6,000	6,000
貸倒引当金	△1,700	△1,700
投資その他の資産合計	283,903	288,009
固定資産合計	303,774	306,723
資産合計	1,157,107	1,103,299

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	35,272	12,942
短期借入金	100,000	100,000
未払金	1,530	4,230
未払費用	15,014	16,025
未払法人税等	12,302	467
前受金	32,263	39,236
預り金	4,935	6,131
その他	289	1,703
流動負債合計	201,608	180,737
固定負債		
繰延税金負債	220	201
役員退職慰労引当金	78,026	79,953
固定負債合計	78,246	80,154
負債合計	279,855	260,891
純資産の部		
株主資本		
資本金	401,200	401,200
資本剰余金	395,700	395,700
利益剰余金	110,338	75,525
自己株式	△36,271	△36,271
株主資本合計	870,967	836,154
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	360	328
評価・換算差額等合計	360	328
新株予約権	5,924	5,924
純資産合計	877,252	842,407
負債純資産合計	1,157,107	1,103,299

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	102,172	86,908
売上原価	61,704	62,699
売上総利益	40,467	24,209
販売費及び一般管理費	82,317	65,925
営業損失(△)	△41,849	△41,716
営業外収益		
受取利息	80	57
保険事務手数料	217	206
その他	46	34
営業外収益合計	344	298
営業外費用		
支払利息	—	367
為替差損	0	38
営業外費用合計	0	406
経常損失(△)	△41,506	△41,824
特別利益		
新株予約権戻入益	503	—
特別利益合計	503	—
税引前四半期純損失(△)	△41,003	△41,824
法人税、住民税及び事業税	72	72
法人税等調整額	△14,389	△15,060
法人税等合計	△14,317	△14,988
四半期純損失(△)	△26,685	△26,836

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	イメージング& プリンタコント ローラ事業	ストレージソ リューション事業	セキュリティ 事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	47,299	12,238	21,989	81,528	20,644	102,172
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	47,299	12,238	21,989	81,528	20,644	102,172
セグメント利益又は損失(△)	8,993	2,068	△20,662	△9,600	190	△9,410

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△9,600
「その他」区分の利益	190
全社費用(注)	△32,439
四半期損益計算書の営業損失(△)	△41,849

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	イメージング& プリンタコント ローラ事業	ストレージソ リューション事業	セキュリティ 事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	45,236	15,243	21,884	82,365	4,543	86,908
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	45,236	15,243	21,884	82,365	4,543	86,908
セグメント利益又は損失(△)	2,748	△3,249	△11,439	△11,940	2,589	△9,350

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△11,940
「その他」区分の利益	2,589
全社費用(注)	△32,365
四半期損益計算書の営業損失(△)	△41,716

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①受注状況

当第1四半期累計期間の受注状況をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)			
	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
イメージング&プリンタコントローラ事業	39,144	△57.7	35,107	△81.2
ストレージソリューション事業	31,268	759.7	26,141	△20.1
セキュリティ事業	43,857	12.9	42,157	△53.2
その他	7,840	66.3	3,297	△78.3
合計	122,111	△12.6	106,702	△67.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②販売実績

当第1四半期累計期間の販売実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	
	売上高(千円)	前年同期比(%)
イメージング&プリンタコントローラ事業	45,236	△4.4
ストレージソリューション事業	15,243	24.6
セキュリティ事業	21,884	△0.5
その他	4,543	△78.0
合計	86,908	△14.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 研究開発の状況

当第1四半期累計期間における当社の研究開発費の総額は、15,034千円（前年同期比1.0%増）となりました。その内容は主に、産業用インクジェットプリンタ制御装置の開発、大容量光ディスクチェンジャー装置システム開発及びWisePatrol機能拡充等に関する研究開発活動であります。